

平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協
電話：03-5842-6035 FAX：03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年
6月20日
発行

核兵器全面禁止・廃絶の声を広島・長崎・世界へ届けよう

6月16日から富山→広島コースに合流して石川県内を行進している国際青年リレー行進者のイー・シェン・ファンさん（台湾・ラン・アン文化教育基金）から届いたメッセージ、プロフィールを紹介します。

「アamongボボ」とは、タオ族の言葉で「トビウオの母」という意味で、これはザトウクジラのことです。アamongボボは黒潮を追って、蘭嶼に住むタオ族の人々との約束通り、毎年2月にこの小島を通過して移動します。タオ語で「リバングバン」とよばれるトビウオは、アamongボボとともに同じ道筋を移動して、海の神であるネプチューンからタオ族への贈り物となります。タオ族の伝統的なカヌーにはびっしりとトビウオの絵が描かれています。何世代にもわたって、人々はこの海の恵みと温かい幸せを享受してきました。

蘭嶼は台湾本島の東南に位置する島です。私は黒潮に乗って台湾から日本にやってきました。私は蘭嶼の島の人々の声を世界に届けたいと思います。幸いなことに台湾には核兵器はありません。しかし稼働中の原発が3基あります。37年前、台湾政府は、魚の缶詰工場を建設するという口実のもとに、蘭嶼に核廃棄物貯蔵施設を建設したのです。この核廃棄物は台湾から黒潮を横切って、太平洋に浮かぶ蘭嶼に運ばれてくるのです。その時以来、1945年に広島と長崎の人々が核兵器で苦しんだと同じように、タオの人々は核の放射線の脅威にさらされるようになりました。この美しい島からは幸福が消え去ってしまいました。

日々の生活はそれでも続きます。タオの人々は新たな世代のために一生懸命働いています。しかし、核廃棄物という悪魔を追い払いたいという強い意志が忘れ去られることはありませんでした。毎年、タオ族の反核運動にとって重要な日である2月20日が来ると、島民たちは、老いも若きも伝統的なよろいを身に着けます。そして島のすみずみから数千歩の歩みを刻んで、島民全員が核廃棄物貯蔵施設の前に集合して、これに反対するデモを行うのです。30年以上が経ちましたが、蘭嶼の中で反核の声が止むことはありません。

何年もの月日が流れました。アamongボボ（ザトウクジラ）とリバングバン（トビウオ）



は今もタオ族との約束を誠実に守って2月になるたびに蘭嶼沖に戻ってきてくれます。しかし、台湾政府は核廃棄物を撤去するとのタオ族との約束をいまだに守っていません。37年が過ぎましたが、核廃棄物はまだ居座っています。それは撤去されることなく、蘭嶼の人々の幸せをむしばみ続けています。

黒潮をたどって台湾から日本にやってきた私は、蘭嶼の人々の声をみなさんにお伝えします。アモングボボ、リバングバン、タオ族の人々と同じく、日本の人々もまた、自らの約束を誠実に果たしておられます。数千歩ものあゆみを重ね、数百キロの距離を歩いて、日本の津々浦々から人々は、核兵器の惨禍を経験した広島と長崎を目ざして歩いています。最初の行進から61年以上が経ちましたが、平和な世界を目指して戦う人々の声が止んだことはありません。私たちはこれから何年かかろうとも、原子力がこの世界から消え去る日まで歩き続けます。

平和行進に参加されているみなさん、私は、「みなさんは孤立してはいない」というメッセージをお伝えしたいと思います。みなさん全員と合流するために、黒潮は私をここに運んでくれました。私たちを支援する世界中のエネルギーがここに集まっているのです。海が私たちを結びつけてくれて、私たちは今日ここに集っています。アルケミストの本に書かれているように、「あなたが心の底から何かを追い求めるならば、宇宙全体が力を合わせてその目的達成を助けてくれるでしょう」。

プロフィール：ラン・アン文化教育基金（台湾の蘭嶼くらんしょ= Orchid Islandにある）代表。シュエンは台湾の環境保護・反核活動家で、先住民の土地である蘭嶼の反核運動に参加してきた。1982年以來、台湾政府は国内3カ所にある原子力発電所からの放射性廃棄物を蘭嶼に廃棄しており、タオ族（蘭嶼に住む先住民族）の人々は37年間にわたって核の被害に苦しんできた。広島・長崎への原爆投下で苦しんだ被爆者と同じように、タオの人々の健康と幸福は、核廃棄物のために損なわれている。シュエンはタオの人々の声と被爆者の物語を世界に伝えることを望んでいる。シュエンは、汚れなく公正で平和な未来を作るために、行進に参加することで世界を変えたいと願っている。

（訳注：蘭嶼は台湾本島の南東沖にある周囲40kmの孤島で、放射性廃棄物貯蔵所が1982年に置かれ、島民はこれに反対している）